

国際センター通信 (No.107)

第7回技術者ラウンジ “DOBOKU”開催報告

国際センター・教育グループでは、若手土木技術者が海外工事に対しての理解を深めるとともに、興味や魅力、あるいはやりがいを感じていただくことを目的とし、技術者ラウンジ “DOBOKU” を定期的で開催していますが、今回は通常プロジェクト紹介ではなく、1年以上にも及んでいる新型コロナウイルスの影響下でどのように本邦企業による海外土木事業が行われているのかに関して、情報交換のための機会を設けることとしました。

今回は、浅野 篤郎氏(大林組 土木本部 海外プロジェクト部)、高橋 義和氏(日本工営 流域水管理事業本部 事業本部長)、千田 雅明氏(パシフィックコンサルタンツ グローバルカンパニー 開発プロジェクト部 技術部長)、水戸 聡氏(清水建設 土木国際支店 土木第一部長)の4名の方にパネラーをお願いし、「コロナ禍の海外プロジェクト」と題して実情を聞かせていただき、ラウンジ参加者とのオンラインにて質疑を行うという形で進めました。

浅野氏からは、感染者の多い(1万人/日)バングラでの橋梁工事について、高橋氏からは、新型コロナウイルスと軍部による政変の2つの難題を同時に抱えるミャンマーでの農業所得向上事業について、千田氏からは、モザンビークのサイクロン被災地域強靱化プロジェクトの事例紹介がありました。(モザンビークの事例は国際センター通信 105号に記事があります。)

https://committees.jsce.or.jp/kokusai/system/files/IAC_News_No.105%28Jp%29ver2.pdf

検温・消毒をはじめ、現場雇用の医師による重症化リスク判断、市街地への外出が不要となるような食事提供、職員への定期的なPCR検査などの防疫対策に関する具体的な説明もありました。各社とも、緊急搬送のための準備をしていることも紹介されました。各種のITツールを駆使したリモート(遠隔)管理に関しては、コロナ禍終息後にも有効活用が期待されますし、チャット・アプリによるコミュニケーションは電話回線接続に制限がある場合でも有効であるとの情報もありました。

海外では日本の緊急事態宣言に比べて現地の法令に基づく強い措置がとられることが多いですが、ロックダウン状態になっても、どの国のどの発注者も工事中断命令を出さないとのことで、この点、生真面目な日系企業の真摯な対応が参加者にも驚きを与えました。

一時中断や生産性低下に伴うクレームは、発注者側に対応指針がないため決めかねているケースが



◆プログラム

16:40~	ZOOM オープン
17:00~17:05	開会挨拶 JSCE 国際センター 教育Gr. リーダー 納多 勝
17:05~17:10	挨拶・パネリスト紹介 JSCE国際センター 教育Gr. メンバー
17:10~17:50	「コロナ禍の海外プロジェクト」事例紹介 浅野 篤郎 (大林組 土木本部 海外プロジェクト部) 高橋 義和 (コンサルティング事業統括本部 流域水管理事業本部 事業本部長代理) 千田 雅明 (パシフィックコンサルタンツ) 水戸 聡 (清水建設 土木国際支店 土木第一部長)
17:50~18:30	ディスカッション コロナ禍のプロジェクトマネジメント、関係者とのコミュニケーション、リモートワークの活用、興味深い体験、苦労したこと、学び etc.

プログラム

多いようですが、工期延伸は認められるものの中断・待機費用等は認められにくい場合がほとんどのことで、今後の紛争解決に当たっても情報交換が重要だと思われます。

ラウンジ参加者からは、他国の建設業者の状況について質問が出ましたが、アフリカでは欧州各国企業は全員帰国してしまって中断している工事も多いとのことでした。また、その分だけ、日本企業への期待感も強いとの見解も示されました。

「今回の新型コロナウイルスのようなパンデミックも含めて、海外事業におけるリスクは高くなっていくと思われるが、海外勤務を希望する人間のモチベーションはどのように維持していくのか」という根源的な質問もありました。これに対して、パネラーからは、「復興事業などでは感謝されること自体がモチベーションにつながる」、「海外だから不安、日本だから安心、ということでもないと思うので、海外であってもしっかりとした体制が取れる形を保証していきたい。」という見解が示されました。やりがいで済まされない事態も想定されることから、海外事業に関するリスクとして今後も真剣に対応を考えていく必要があると感じました。

当ラウンジは前々回からオンライン形式で開催されるようになり、ますます多くの技術者への情報発信・交換が可能になりました。若手技術者対象に限らず、皆さまの意見を取り入れて活用を広げてまいりますので、よろしく願いいたします。

【記：柳 英実（国際センター 教育グループ）】

ガーナ・テマ交差点改良計画 1 期工事

ガーナ・テマ交差点改良計画 1 期工事は、ガーナ国の経済成長を支える物流の国際回廊である「ラゴスーアビジャン回廊」とガーナ国最大のテマ港からの「東部回廊」が交わるテマ交差点の立体整備工事です。工事着手前のテマ交差点は、テマ市街からの道も合流する五差路であり、交通量は非常に多く、慢性的な渋滞が発生することにより、ガーナを含むアフリカ諸国の円滑な国際物流を妨げるボトルネックとなっていた。日本の無償資金協力で実施された本工事は、ガーナ国道路省の最優先事業であり、2017年にその第1期の入札が実施され、清水建設・大日本土木共同企業体が受注し、2018年2月に着工した。工事完成目前であった2020年3月頃から、ガーナでも新型コロナ感染者が増加し、国境閉鎖、外出禁止が発令される等多数の制約により工事遂行が極めて厳しい状況となった。このような困難な状況下、ガーナ国の経済発展を旗印に、スタッフ・作業員が一丸となり防疫対策に取り組む等、一人の感染者も出さずことなく工事を完成させた。2020年6月5日に執り行われた開通式では、ガーナ国大統領がテマ交差点の開通によって地域住民と道路利用者が渋滞による不便な生活から解放されると祝辞を述べた。

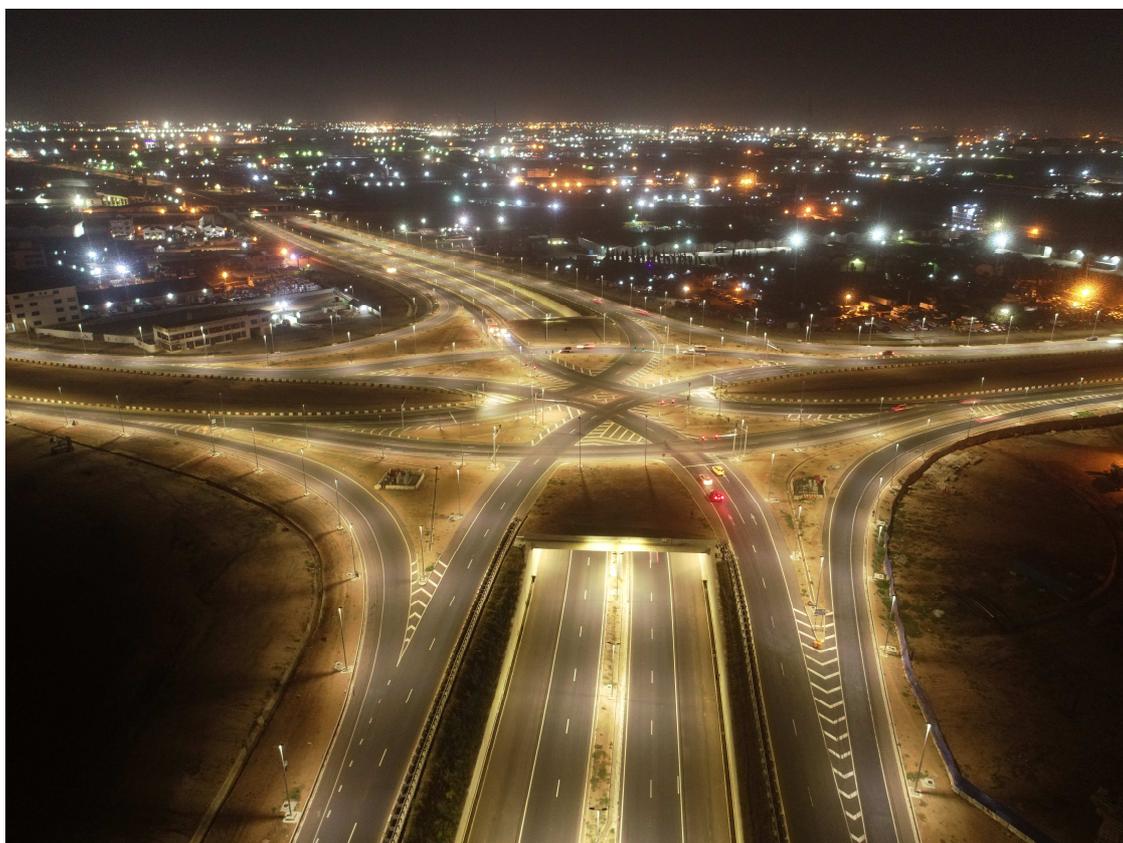


植村 勇仁
(清水建設(株))

本工事は、交差点を中心とした東西南北夫々1km ずつの道路改良工事で、主な工種は、舗装工事(面積: 141,394m²)、ボックスカルバート工事(延長: 190m)、歩道橋工事(4箇所)、道路付帯工事(1式)である。

工事を進めるにあたって、以下の3つのテーマを掲げた。①ガーナ国のリソース(人材や資材)の活用、②ガーナ国人材の育成(技術移転等による人材の育成)、③新技術の活用(ICT 技術、CIM)。主な実績として、①延べ約 20 万人(最大 600 人/日)の雇用の創出、②コンクリート製造・打設の品質講習会ならびに現場体験型安全勉強会の実施、③CIM を活用したローカルスタッフ理解向上による生産性向上を成し遂げた。

第 1 期工事の成功を経て、第 2 期工事も計画されており、第 1 期工事に続いて無償資金協力が適用される予定である。また、交差点周辺の道路開発計画も発表されており、今後、テマ市から首都アクラ近郊に至る都市高速道路網が充実していくことが予測される。第 1 期工事の施工を通じて成長した現地エンジニアや現場で受け入れたガーナ大学からのインターンシップ学生たちがガーナ国の発展のためにこうした今後のプロジェクトにおいて活躍していくことが期待される。



ガーナ・テマ交差点 完成全景

【記：植村 勇仁、水戸 聡 (清水建設(株))】

ダイバーシティ&インクルージョン推進委員会

ダイバーシティというキーワード

この1年ほどの間で、日本社会においてダイバーシティという言葉を知ることが急激に増えたように思う。それは、ジェンダーギャップ指数の国際ランキングがとても低いなど、日本ではこの課題にもっと取り組まなくては、という課題意識の現れと受け止められる。土木学会では2004年に設置されたジェンダー問題検討特別小委員会に始まり現在のダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会(D&I委員会)へと組織を充実させながら継続的に取り組み、現在は「土木 D&I2.0 にむけた活動の場とツールをつくる」というJSCE2020プロジェクトを進めている。そのなかの活動の一つ、D&Iカフェトークを紹介したい。



佐々木 葉(ダイバーシティ&インクルージョン推進委員会 委員長)

D&I カフェトーク

「身近にあります。多様な働き方や生き方。そんなお話聞いてみます。」というコンセプトで、ゲストとアンカーがD&Iにまつわるトピックを気楽におしゃべりするオンライン番組で、3月末から隔週金曜日の夕方に開催し、働き方、キャリア展開、外国で働くこと、言葉の壁など幅広い話題について、けれどもいずれも自身の体験としての語りをお届けしてきた。お聞きになった方々からは、様々な気づきがあった、視野がひろがった、という感想を毎回いただいている。アーカイブは“土木学会tv”にて順次公開しているのでぜひ閲覧いただきたい。

第2回
本日の話題
日本語の壁
留学生進路の大問題

人数が増えている留学生たちが、卒業後の進路を選ぶときに、まず日本語の壁があります。国際化が進む大学では、英語教育が充実された反面、在学中に日本語を勉強する機会が少くありません。日本語の壁をどうしたらなくなるのか、探ります。

2021年3月24日(水)
17:00-17:30ごろ

参加無料

申し込みはこちらから

ゲスト 党 紀 さん
埼玉大学
埼玉大学
理工学研究科准教授
東洋大学博士
東北大学
京大研究員

アンカー 山田 菊子 さん
東亜工業大学
ドボクD&I2.0チーム
部長、専任講師
うさこちゃんが好き

D&I カフェトークの案内フライヤー

この企画では、D&Iを社会的な要請とか、理念的なこととして考えるのではなく、一人ひとりのリアルな感覚、事情、考え方、選択の問題として語り、聞き、受け止め、考えることを目指している。男女や国籍などといった見えやすい属性の多様性として捉えられがちなダイバーシティは、一人一人の個別具体的な生き方の多様性の尊重と表裏一体である。そんな感覚がじわじわと広がっていくことを期待している。

好きな椅子に座って

またD&Iカフェトークの情報発信はウェブサイトやSNSで行っており、そこで用いるイメージ画像にはいろいろな椅子のイラストをあしらっている。椅子は座る人の身体や立場、場の雰囲気を表象する。それぞれ好みの椅子を好きな位置に置きながら、その場の話題にフラットに耳を傾け、自由な思いをいただき、語る。この共感を大切にしながらD&I委員会は土木というそもそも多様な世界のD&Iを考えようとしている。自分ごととしてのD&Iをぜひご一緒

ドボク
D&I 2.0

土木学会 ダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会
JSCE 2020-2024

D&I カフェトークの背景画像：さまざまな椅子

に考えていきましょう！

【記：ダイバーシティ&インクルージョン推進委員会 委員長 佐々木 葉（早稲田大学 教授）】

お知らせ

【今後の予定】

2021 年度 土木学会全国大会 International Program (国際関連行事)

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/226>

- ◆ACECC TC21 国内支援委員会／災害レジリエンスの構築に向けた分野・部門間協働や意思決定に対し、COVID-19はどのような影響を与えたか？（9月6日13時～15時開催）

<https://committees.jsce.or.jp/acecc02/node/24>

- ◆ダイバーシティ・アンド・インクルージョン推進委員会／土木D&I 2.0：考えよう、ルーツの多様性で土木界を元気に（9月7日10時～12時開催）

<https://committees.jsce.or.jp/diversity/node/74>

- ◆JSCE-Faculty of Engineering, Kasetsart University Online Joint Seminar（9月28日開催）

<https://www.jsce-int.org/node/730>

- ◆【YouTube】2nd JSCE Concrete Committee Webinar "Frontiers of Concrete Technology" Aging Management of Concrete Structures in Nuclear Power Plants - Internal swelling reaction of concrete -（8月4日開催）

<https://www.youtube.com/watch?v=ArU-x-oyGig>

- ・【YouTube】1st JSCE Concrete Committee Webinar "Frontiers of Concrete Technology"

<https://www.youtube.com/watch?v=IP65Dudd6tk>

- ◆第17回世界地震工学会議（17WCEE）（ハイブリッド形式）

<http://www.17wcee.jp/>

- ◆「海外インフラプロジェクトアーカイブ（JSCE ウェブサイト英語版）」

<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

- ◆米国土木学会（ASCE）関連

- ・ASCE Lifeline Conference 2021 2022 日程変更 2022/1/31-2/4

<https://samueli.ucla.edu/lifelines2021/>

- ・日米合同シンポジウム「インフラ・レジリエンスのための評価・管理・ガバナンス」*シンポジウム録画の視聴可能

<https://www.infrasril.jp/event/01/>

- ・International Conference on Sustainable Infrastructure（2021年12月開催@オンライン）

<http://app.message.asce.org/e/es?s=1360&e=713080&elqTrackId=f2b02296aa9c4f699603ed9d506586f4&elq=5dbc17091cf64c9faaaae1d65ba9cab2&elqaid=26738&elqat=1>

- ◆国際センターYouTubeチャンネル



2021 年度国際ラウンドテーブルミーティング “Changing Society and Future Infrastructure”

(<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/227>)

https://youtube.com/channel/UCGIs6DHzX_cGD-mHUrRlkA

- ◆「旅に出たくなる日本の土木遺産」大河津分水 SNS 投稿まとめ（土木学会 note）
<https://note.com/jsce/n/nc7d5a9096192>
- ◆ 9th International Conference on Experimental Vibration Analysis for Civil Engineering Structures (EVACES2021)
<https://ec-intl.co.jp/evaces2021/>
- ◆ 第 171 回論説(2021 年 8 月版) オピニオン
 - (1) 人口減少下における留学生教育と高度外国人材の育成
<https://note.com/jsce/n/n0310bda89cb5>
 - (2) 土木の魅力を伝えたい
<https://note.com/jsce/n/n8f0a6545c2c2>
- ◆ 一般社団法人 海外建設インフラ協会:
<http://o-ira.com/>
※「アジア経済新聞」（隔月曜日発行）土木会館に於いて閲覧可能。
- ◆ 「国際センターだより」※JSCE ウェブサイト（日本語版）
http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2021
- ◆ 土木学会誌 2021 年 9 月号 ※JSCE ウェブサイト（英語版）
<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。
(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp
皆様のご意見やコメントをお待ちしております。